

～安心で、持続可能な社会の実現を目指して～

**「丸ノ内線四ツ谷駅 太陽光発電システム稼働開始！」
ホームドア・エレベーター等の駅施設の電力に活用**

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）は、2021年3月26日（金）から丸ノ内線四ツ谷駅の太陽光発電システムを稼働いたします。

東京メトロは2021年3月、新たに長期環境目標「メトロCO₂ゼロ チャレンジ 2050」を設定し、東京メトログループ全事業が排出するCO₂量「2030年度-30%（2013年度比）、2050年度実質ゼロ」を目指しています。

その1つとして再生可能エネルギーの活用を推進しており、地上駅のホーム屋根上で太陽光発電システムを稼働し、ホームドアやエレベーター等の駅設備に活用する取り組みを2008年から順次実施しています。今回の丸ノ内線四ツ谷駅への導入は11駅目となります。

この度、稼働を開始する丸ノ内線四ツ谷駅の太陽光パネルの最大出力は164kWであり、想定されるCO₂排出量削減効果は年間約69.7tを見込んでいます。

東京メトログループ役員・社員が一丸となり、CO₂の削減に積極的に取り組み、「安心で、持続可能な社会」の実現を目指してまいります。

詳細は別紙のとおりです。



<丸ノ内線四ツ谷駅 太陽光発電システム>

「丸ノ内線四ツ谷駅 太陽光発電システム」について

1. 稼働スケジュール

2021年3月26日稼働開始

2. 設置場所

丸ノ内線四ツ谷駅ホーム屋根上

3. 発電能力

- ・最大出力：164kW
- ・想定CO₂排出量削減効果：69.7t/年



4. これまでの太陽光発電システムの導入事例

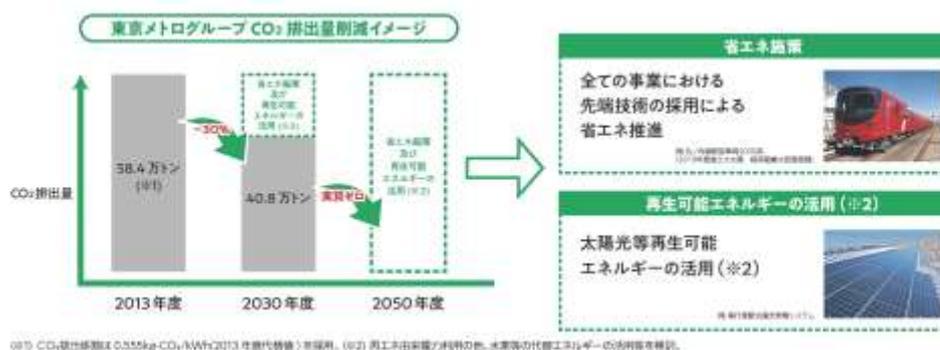
- ・設置駅（11駅）

駅名	稼働開始時期	発電能力
千代田線 北綾瀬駅	2008年9月 ※駅改装工事のため停止中	20kW
東西線 南行徳駅	2012年3月	132kW
東西線 妙典駅	2012年9月	253kW
東西線 浦安駅	2013年3月	98kW
東西線 西葛西駅	2013年8月	99kW
東西線 葛西駅	2013年8月	93kW
東西線 原木中山駅	2013年8月	150kW
東西線 行徳駅	2014年3月	108kW
日比谷線 南千住駅	2015年2月	80kW
東西線 西船橋駅	2015年3月	166kW
丸ノ内線 四ツ谷駅	2021年3月（新設）	164kW

- ・合計最大出力：約1,363kW
- ・合計想定CO₂排出量削減効果：579.6t/年

（参考）長期環境目標「メトロCO₂ゼロ チャレンジ 2050」

東京メトログループ全ての事業における先端技術の採用や改善活動等の創意工夫により、再生可能エネルギーの活用や更なる事業の省エネ化を通じ、東京メトログループ全事業が排出するCO₂量について「2030年度-30%（2013年度比）、2050年度実質ゼロ」を目指します。



東京メトログループの SDGs（持続可能な開発目標）への貢献について

東京メトログループは、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の特定に合わせて、SDGs に掲げられている 17 の目標、169 のターゲットとの関連性を整理しました。引き続きマテリアリティに係る各種施策を通じて SDGs の達成に貢献していきます。

なお、本リリースの取り組みは、主に SDGs における目標 7 番「エネルギーみんなにそしてクリーンに」及び 13 番「気候変動に具体的な対策を」に貢献するものと考えています。



東京メトログループのサステナビリティ重要課題とテーマ

<https://www.tokymetro.jp/corporate/csr/materiality.html>